

ザ・病気

B型肝炎とワクチン

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染により、肝臓障害を起こす病気です。キャリアである母親の子宮や産道で感染する**垂直感染**と、周囲の感染者やキャリアの**血液や体液（汗、痰、唾液など）**を介して感染する**水平感染**の2種類があります。

急性期には、不顕性感染と言ってほとんど何も自覚症状がなく抗体ができて治ってしまう経過だったり、生命にかかわる**劇症肝炎**だったり、人により、ウイルスのタイプにより様々です。感染した後に抗体ができていにもかかわらず、ウイルスが肝臓に住みついている状態をキャリアとし、1、3～4歳以下の子どものかになりやすいです。さらにキャリア化した人の約1割が**慢性肝炎**となりますが、子どもはどちらの状態でもほとんど症状なく、血液検査をしないとわかりません。慢性肝炎の状態が続くと肝細胞が破壊されて肝機能が大きく低下し硬くなっていきます（**肝硬変**）。また肝がんへと進行する可能性が高いです。日本では、キャリアである母親から産まれた赤ちゃんには約30年前からワクチンが始まり、垂直感染は激減しましたが、2013年時点でのB型肝炎持続感染者は130～150万人（100人に1人）です。近年、父親や祖父からの感染、保育園など集団保育の場での感染、また成人での性感染症などが問題になっており、このような水平感染を防ぐためにすべての赤ちゃんにワクチンを、という世界のワクチンレベルに日本もやっとおいてきたところですよ。

生後2ヶ月から始める3回接種の不活化ワクチンです。

副作用はほとんどありません。1歳以上のお子さんは任意接種の取り扱いはありますが、この機会にできるだけ早めに、B型肝炎ワクチンをうけましょう。



平成28年10月1日より

B型肝炎ワクチンが定期予防接種になります！



※対象は平成28年4月1日以降に生まれた1歳未満のお子様です。

※任意接種として1～2回受けておられる方は、残りの回数を定期接種として受けることができます。

※母子感染予防として出生直後にB型肝炎ワクチンを始めておられる方は、定期予防接種の対象外となります。

平成28年10月1日より

福岡市子ども医療助成制度が変わります！

※病院医療費の一部自己負担が導入されますが、助成対象年齢が小学校6年生まで拡大されます。

※3歳以上の滞病は下表のとおり一部自己負担額がかかります。

※3歳以上で一定の障害のあるお子様は、障害者医療証が優先されます。

区分	平成28年9月30日まで	平成28年10月1日から	
通院	小学校就学前まで自己負担額なし (小学生が滞病なし)	3歳未満 3歳以上 小学生就学前まで (1医療機関あたり)	自己負担なし 600円/月 (1医療機関あたり)
入院	中学校3年生まで 自己負担額なし	小学生 (1医療機関あたり)	1,200円/月 (1医療機関あたり)

インフルエンザワクチン接種を10月24日から開始します！

昨年通り、インフルエンザワクチン予約システムのご利用が可能です。また予約なしでの来院順でも接種ができます。

【インターネット予約をご利用に当たっての注意点】

- 料金は1回4,000円となります。
- 13歳未満のお子様は、初回接種から2～4週（3週間あけてが望ましい）間隔で2回の接種が必要です。
- 6ヶ月以上1歳未満の方で、接種をご希望の方は医師にご相談ください。
- 卵アレルギーのある方は当院では接種できません。
- 予約時間の10分前にお越しください。20分以上遅れて来院された場合は、キャンセルとさせていただきます。
- 診察もかねて接種をご希望の方は、このシステムでの予約はできません。通常通り、外来での来院順となりますのでご了承ください。
- ご両親も接種可能です。ご予約ください。

ご希望の方は他のワクチンとの同時接種もできます。（生まれて初めてのインフルエンザワクチンは単独でお受けください。）

